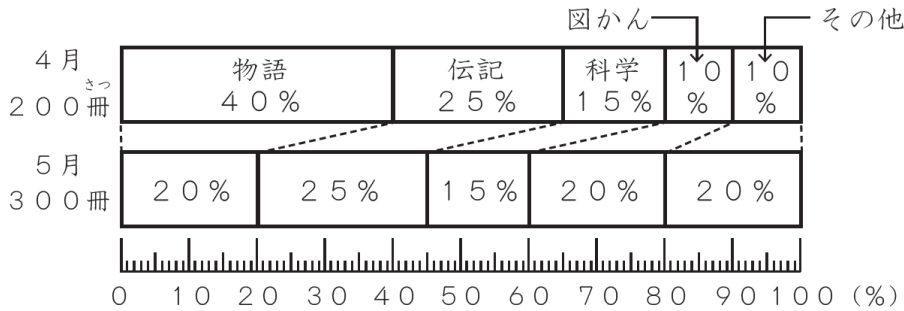


○ 調査問題

(3) 次のグラフは、さちこさんの学校の図書室で、4月と5月に貸し出された本を、本の種類ごとに表したものです。
このグラフについて、正しいものを次のアからエの中から1つ選びましょう。



- ア 貸し出された「物語」の本の冊数は、4月と比べて5月は半分になっている。
- イ 貸し出された「伝記」の本の冊数は、4月と5月で変わらない。
- ウ 貸し出された「科学」の本の冊数は、4月と比べて5月は増えている。
- エ 貸し出された「図かん」の本の冊数は、4月と比べて5月は2倍になっている。

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の趣旨】

- 帯グラフを読み取ることができる。

【問題の内容】

- 帯グラフを読み取り、説明として適切なものを選ぶ。

○ 誤答分析

解答類型	1 アを選択	2 イを選択	③正答 ウを選択	4 エを選択	その他	無解答
解答率	30.9%	13.1%	34.3%	17.1%	0.2%	4.5%

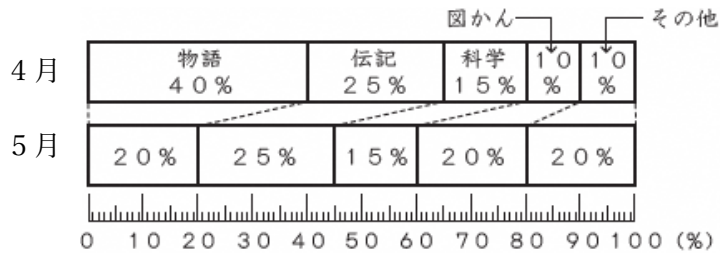
- 正答率は、34.3%である。アと選択した誤答が30.9%であることから、説明にある40%と20%という割合の数字のみを比べて、説明が「正しい」と判断する児童が多いことがうかがえる。アよりも少ないもののイやエにおいても同様であり、すべてを合わせると61.1%である。
- 問題文を正しく読み取り、注目すべきことが「冊数」であることをしっかりと押さえることができていない。
- 4月や5月の貸し出された冊数、すなわち全体の量(基準量)と、帯グラフの中にある割合から、比較量を導き出す力が必要になる。その求め方が定着していない。

○ 指導上のポイント

基準量と割合の両方に着目して、比較量の大小を判断できるようにする指導

(1) 帯グラフが割合を表すグラフであることを理解し、読み取る活動。

ある学校の図書館で、貸し出された本を種類ごとにあらわしたものです。



何か、気が付いたことはありますか？

「伝記」が同じです。



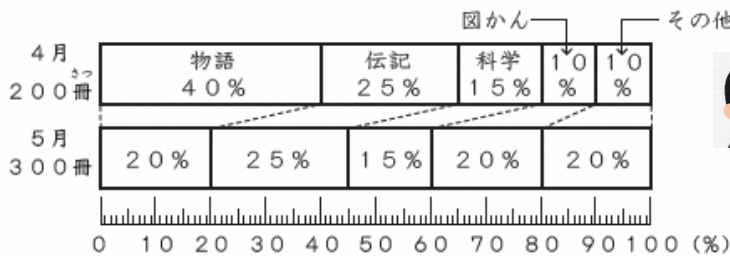
なるほど。何が同じなのかな？

割合です。どちらも25%です。

- ・ 帯グラフは、実際の量ではなく割合を表していることを確認する。
- ・ 他の本の種類にも目を向けさせ、2倍や半分になっているのも割合であることを押さえる。



(2) 基準量が異なる場合、割合が同じでも比較量は同じにならないことを考える活動。



貸出冊数はそれぞれ左のようになっています。「伝記」の冊数は同じかな？

実際に求めれば…。

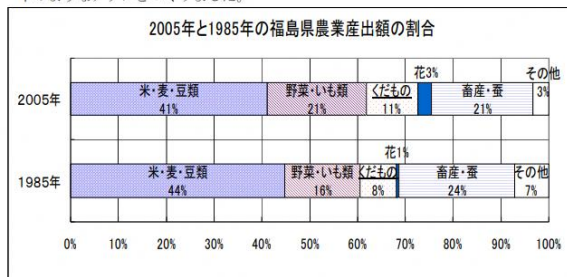


- ・ 基準量が異なる場合、計算したり数直線に表したりして、割合が同じでも比較量は同じにならないことに気付かせる。
- ・ 振り返りで、「割合だけでなく基準量にも目を向けるようにする」といった言葉を引き出したい。



○ 活用力育成シート、定着確認シート等の活用

7. 2005年と1985年に福島県で生産された農作物の金額(農業産出額)を調べて、下のようなグラフをつくりました。



(資料: 農林水産省「生産農業所得統計」より作成)

(3) 2005年と1985年の農業産出額は、以下の通りです。

2005年 2500億円 1985年 4002億円

このとき、くだもの割合が8%から11%へふえているので、くだもの産出額もふえているといえるでしょうか。言葉や数を使って下の□に説明しなさい。

【出典】

「定着確認シート」H24 小学5年 第6回